

# くすりのしおり

注射剤

2025 年 12 月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

## 製品名: プレビタ S 注射液

**主成分:** チアミン塩化物塩酸塩 (Thiamine chloride hydrochloride)  
リボフラビンリン酸エステルナトリウム (Riboflavin sodium phosphate)  
アスコルビン酸 (Ascorbic acid)

**剤形:** 注射剤

**シート記載など:**



## この薬の作用と効果について

チアミン（ビタミン B<sub>1</sub>）とリボフラビン（ビタミン B<sub>2</sub>）は、代謝酵素の補酵素として作用します。アスコルビン酸（ビタミン C）は、コラーゲンの生成に関与して皮膚・骨・血管が弱くなるのを抑え、副腎をストレスから防御し、メラニン色素の生成を抑えるなどの作用があります。

通常、本剤に含まれるビタミン類の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給に用いられます。

## 次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（（ ）：医療担当者記入）
- ・通常、静脈内または点滴静脈内注射します。具体的な使用期間については、担当の医師にお聞きください。

## 生活上の注意

- ・臨床検査値に影響を与えることがありますので、検査を受ける場合は、この薬を使用していることを医師に必ず伝えてください。
- ・尿が黄色に着色することがあります。

## この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、発疹、吐き気などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・血圧が下がる、胸が苦しい、呼吸をしにくい [ショック]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

## 保管方法 その他

## 医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。